

日曜日の風景

何でもない週末の、
何でもない、一日
Scene No.17

木にこだわった家づくりを提案するご夫婦が茅ヶ崎に建てた家は
今では懐かしい原風景、雑木林の中に佇み、隅々まで美しく、
そのうえ快適な理想の住まい。自然と寄り添いながら、日々の暮らしを楽しみ、
子供たちものびのびと育っています。

撮影／渡辺修身(Forest) 取材・文／鈴木奈代
デザイン／野澤享子
(Permanent Yellow Orange)

ガラス窓一面に雑木林の緑が広がるリビング。
冬でも明るく、暖かく快適です。ソファはNO
YESでセミオーダー。暖炉上の飾は奥さまの
実家の油絵の額だったものに紐をはめ込んだ
もの。ランプはボフスリーで購入。

favorite collection



日曜日の
風景
Scene No.17

2階には子供たちそれぞれの部屋が。次女・悠ちゃんの部屋のテーマカラーはピンク。ローラアッシュレイの花柄のファブリックを効かせて可愛らしく。ベッドはご主人作、椅子は奥さまがベント(1・3)。長女の沙羅ちゃんの部屋はラベンダーがテーマカラーでロフト付き(2)。長男の楽くんはモスグリーンで動物や鳥のシールが(4・5)。



1. 2階のトイレはタイルとペイントで一面ターコイズブルーに。洗面ボウルはTOTOのもので「公共施設などで使われるのですが、子供が洗いやすいかなと思って」採用。水栓金具は仏・オリュス社。2. 米・D.R.ダイムズ社のウィンザーチェアは、18世紀頃に使われていた椅子を模倣したもの。小形さんご夫婦が細い足で自宅や庭園に。現物はKONARAHOUSEでも販売しています。3. 1階のトイレのランプは、ラ・シエタがデザイン。好きなパーツを選んで組み立て、製作してくれるそう。4. 主客室やキッチンで使われているファブリックの柄は、ローラアッシュレイで購入したもの。5. 2階のトイレの洗面カウンターは白いタイル張り。1つだけハチのタイルがはめ込まれているところにセンスを感じます。タイルは平田タイルのもの。6. 1階の洗面所の鏡は、徳島県門田で購入した鏡に飾りをつけて、さらにそれを収納の棚として設置。飾り付けではなく、機能性も兼ねて収納になっています。7. 次女・悠ちゃんの部屋のベッドサイドが可愛らしいピンクのペンダントランプはローラアッシュレイで購入。ローラアッシュレイもよくチェックするショップのひとつ。8. バロニーの船手口近くの壁にはエコバッグや帽子など外出に必要なものを掛けるフックが。壁のフックはダルトンで購入。9. 主客室のベッド上には白のクッションをたくさん並べています。クッションは季節ごとに替えるので、縫製も手頃なアランランで購入することが多いそう。

至るところに夫婦のセンスが凝縮された家

ご主人の理想とするティンバーフレームの家と奥さまのインテリアセンスが見事にミックスされた家。前職がガーデニング関係という奥さまは昔からインテリアにも興味を持ち、ご主人との結婚を機に本格的に仕事として取り組み始めたそう。洋書や雑誌を参考に洗練された独自のセンスを発揮しています。テーマは「モダンデコ」。居心地の良い、ナチュラルかつモダンな中にデコラティブな要素を取り入れた。まるで洋書の世界のような家が完成しました。

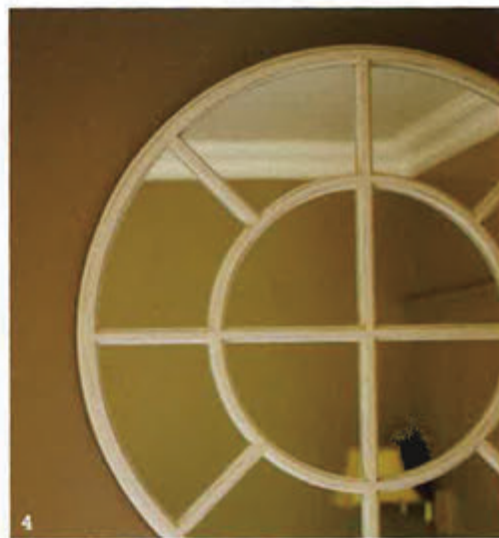


日曜日の
風景
Scene No.17

2階には子供たちそれぞれの部屋が。次女・悠ちゃんの部屋のテーマカラーはピンク。ローラアッシュレイの花柄のファブリックを効かせて可愛らしく。ベッドはご主人作、椅子は奥さまがベント(1・3)。長女の沙羅ちゃんの部屋はラベンダーがテーマカラーでロフト付き(2)。長男の栄くんの部屋はモスグリーンで動物や鳥のシールが(4・5)。



ポーチから入ってすぐのダイニングキッチン。テーブルは古材を用いたKONARAHOUSEオリジナル(1)。ランチはトマトとベーコンの Pasta、サラダ。お愛のBiggyのパン(5・10)。壁をベージュにペイントした主寝室。ベッドリネンは白で爽やかに。ブラケットランプのベース部分はオーデリックで、シェードはローラアッシュレイ。今は長男、次女と一緒にここで寝ているとか。横にはお子さんたちのお絵かき部屋があり、作品が壁にぎっしり(11・12)。長女の沙羅ちゃんが持ってきた全角はキッチンに(13)。全面窓の開放感溢れるバスルームの天井はレッドシダー材。洗面所は大理石、モザイクタイル。タイルと異なる素材をベージュで統一。間にある壁下にはベンチや収納が。洋服用の収納ボックスは奥さまのイラスト付き(6・7・8・9)。アメリカなどの住宅でよく見かけるスクリーンポーチ。テーブルと椅子を置き、暖かい季節の夜や休日はこちらで食事。ポーチとLDKとの間のガラス扉は米・マウヴィン社のもので気密性も抜群(7・9)。2階のトイレは鮮やかなターコイズブルー(13)。



1. 2階のトイレはタイルとペイントで一面ターコイズブルーに。洗面ボウルはTOTOのもので「公共施設などで使われるものですが、子供が洗いやすいかなと思って」採用。水栓金具は仏・オリュス社。2. 床・D.R.ダイムズ社のウィンザーチェアは、18世紀頃に使われていた椅子を復刻させたもの。小形さんご夫婦が憧れ込んで自宅で使用し、現在はKONARAHOUSEでも販売しています。3. 1階のトイレのランプは、ラ・シェンガでセミオーダー。好きなパーツを選んで組合わせ、製作してくれるそう。4. 主寝室でひとときを引く美しいデザインの鏡は、ローラアシュレイで購入したもの。5. 2階のトイレの洗面カウンターは白いタイル張り。1つだけハチのタイルがめ込まれているところにセンスを感じます。タイルは平田タイルのものだとか。6. 1階の洗面所の鏡は、装飾専門店で購入した鏡に鏡をはめ、さらにそれを収納の棚として設置。鏡だけでなく、絵画性も世評の収納となっています。7. 次女・桜ちゃんの部屋のビーズ棚が可愛らしいピンクのペンダントランプはローラアシュレイで購入。ローラアシュレイもよくチェックするショップのひとつだとか。8. バントリー横の勝手口近くの壁にはエコバッグや帽子など外出に必要なものを掛けるフックが。壁のフックはダルトンで購入。9. 主寝室のベッド上には白のクッションをたくさん並べています。クッション類は季節ごとに変えるので、値段も手頃なフランフランで購入することが多いそう。

至るところに夫婦のセンスが凝縮された家

ご主人の理想とするティンバーフレームの家と良さまのインテリアセンスが見事にミックスされた家。前職がガーデン関係という良さまは昔からインテリアにも興味を持ち、ご主人との結婚を機に本格的に仕事として取り組み始めたそう。洋書や雑誌を参考に洗練された独自のセンスを発揮しています。テーマは「モダンデコ」。居心地の良い、ナチュラルかつモダンな中にデコラティブな要素を取り入れた、まるで洋書の世界のような家が完成しました。